

甲斐の金山から

平成27年7月10日 第72号

博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡／湯之奥・中山金山

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報

有料記念入館者
33万人目達成



おめでとうございます!

去る6月14日(日)
33万人目の記念入館者と
なられた十楽さんご家族。
家族を代表して、4歳の歩生君が、
もーん父さんから花束と記念品を
受け取りました。



湯之奥3金山と富士(麓)の金山衆

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 谷口一夫

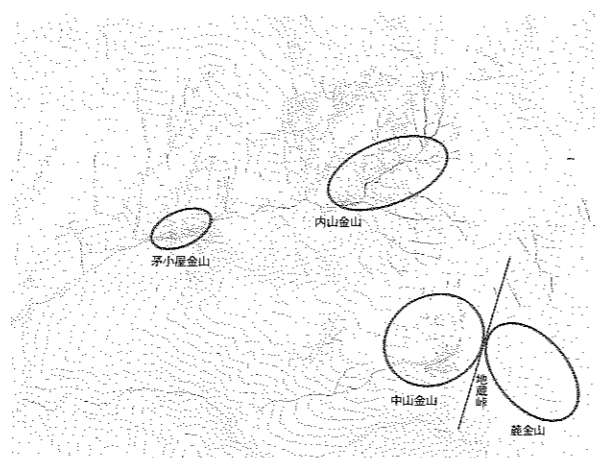
甲斐国・湯之奥中山・内山・茅小屋金山と駿河国・富士(麓)の4金山(遺跡)は、第1図に見る甲斐国境である毛無山へ続く地蔵峠を挟み、図示した位置関係にある。この4金山は歴史の流れの中で一体感が伺える。

4金山の操業年代は、平成元年～3年に実施された中山の総合調査で15世紀後半の中国陶磁器などの出土によって、初源期の露天掘りによる採掘開始をこの時期にしている。

一方、金山終焉期は金山関係文書から、「内山・茅小屋」における金が枯渇、金が採れなくなったので退転したいという、茅小屋村・九左衛門が代官所に出した文書の年代「門西家文書(1686年・貞享3)」の時期となる。概ね200年間の操業期の中で、当然間断なく採掘が行われていたとは考え難いが、その中で金山衆の世界が展開されていた。

わが国の産金は、8世紀中葉に「続日本記」などにみられる陸奥、下野、駿河などで始まった。鉱石を粉成す道具がないことから、砂金・芝金採掘によるものだが、湯之奥3金山と富士(麓)の、合わせて4金山には、不定型な自然地形を簡単な造成で整えたテラス(平坦)面を作業域・生活域・墓域に充てた様相が示され、その周辺から鉱石を粉成す古いタイプの「磨り臼」、「回転式挽き臼」が伴うことで、砂金採掘とは明らかに違う産金方法が始まっていた。産金形態には江戸時代の古文書にも「河金・芝金・山金」といった記述がみられるが、湯之奥3金山+富士(麓)金山は、戦国期に始まった初源期金山という位置に置いている。

この4金山における金山衆の消長について触れてみると、4金山の金山衆は駿河国の人、ただ一人、太田八左衛門は茅小屋から旧下部(身延町)竹之島へ下った。子孫の皆様は、供養の為、毎年茅小屋へ登っていたという。



第1図 湯之奥3金山と富士(麓)金山

さて4金山に関わる文書は、富士(麓)に関わる「太田神五郎に富士金山へ上げる荷物5駄毎月6度認める」(天文3・1534)今川寿桂尼文書<①麓・竹川家に本書と市郎右衛門証文写>が残る。文中に「甲斐国境なのでくれぐれも甲斐国へ入らぬように、入ったら罰する」とあるが、実態は中山まで入っていたと思える。

この寿桂尼文書の34年後、1567～68年(永禄10～11)に相模・駿河・甲斐の三国同盟が破棄された頃の、永禄11年(1568)に穴山信君は「中山の郷」(中山金山)へ出入りする物資について、河内地方(富士川流域)の番所の自由な通行を認める」という通行文書を中山の郷の者へ出している<②市郎右衛門証文写>。駿河・甲斐の国境(地蔵峠)がだめなら、富士川流域(東河内路)を通過して中山へ登ればという感じである。

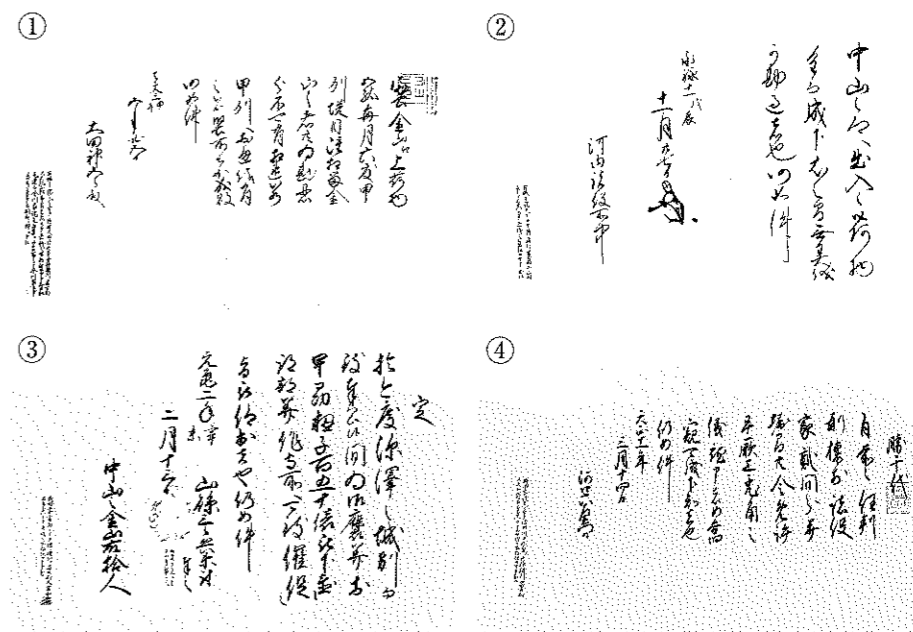
また、その3年後の元亀2年(1571)正月、武田信玄は北条氏康の属城「深沢城」攻めで手柄を立てた黒川と中山の両金山衆に、同年2月23日、褒美を出したが、その内容には大きな差がある<③市郎右衛門の判物証文写>。黒川の金山衆には7名個人に4か条の特許が与えられ、かつ信玄亡き後も勝頼から追認されているのに対し、中山の金山衆は十人に粗米150俵1回きりの褒美。その文面も「甲州に於いて褒美を出す」

ので催促するようにとあり、中山の金山衆は駿河国人であると、すでに認識されていた。(天正元年(1583)武田信玄が病没。天正10年(1582)に勝頼天目山で自害し武田家滅亡)

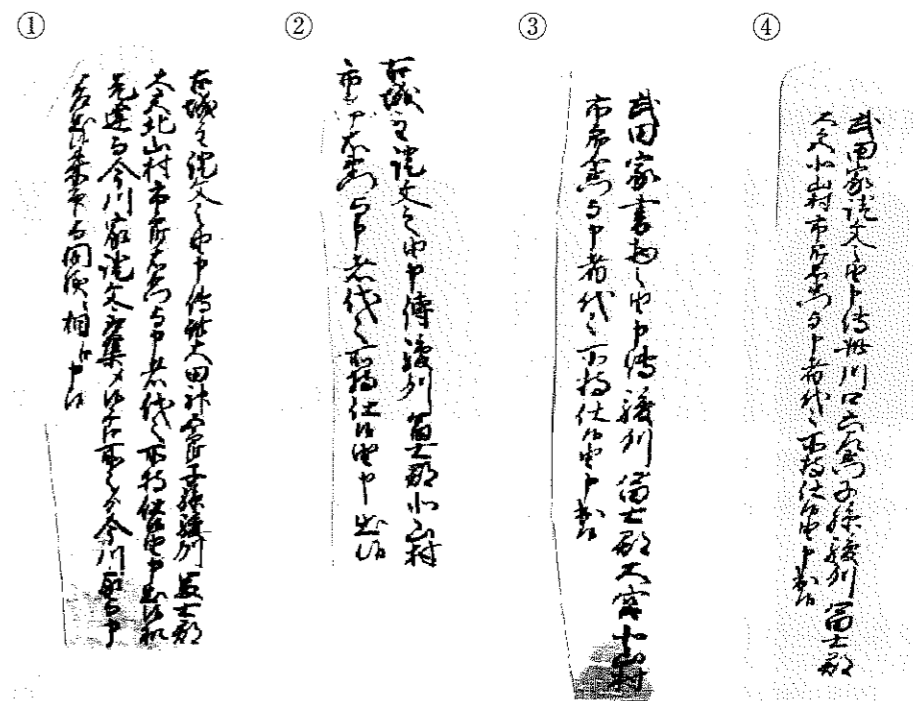
天正11年(1583)穴山勝千代は、中山の金山衆・河口六左衛門尉の所有する掘間(間歩)にかかる諸税を免除している。産金があれば6分をご公儀へ、4分を間歩主・掘り子へという配分方法は、前出貞享3年の門西家文書の茅小屋村九左衛門文書中に見られるが、これが産金に対する取り分であったと見られる。したがって産金がないときは、掘間に関わる諸税は免除されていたとも思える。この書状も<④市郎右衛門の判物証文写>である。

4金山にまつわる重要な文書4通はいずれも、駿河国富士郡大宮北山村市郎右衛門(第2図)が所蔵していた事から、4金山の金山衆の出身地が駿河であることにもつながる。

なお、慶安3年(1650)の門西家文書には“内山の市郎右衛門”が中山の武兵衛を訴えた書状が残っている。この「市郎右衛門」が、代々同



第2図 4通の判物証文写



第3図 第2図の証文写の時点で原本を所持していた人物が富士郡大宮北山村の市郎右衛門だという注記。

家に伝承されていた前出4点の文書所有者である可能性は高いが、第2図に見られる4つの判物証文写の注記にみられる「市郎右衛門」に結びつくかどうか。楽しみだ。

2015年4月～6月の博物館活動報告

開館18周年記念事業「気球に乗ろう！熱気球搭乗体験」

5月9日(土)

平成9年の4月24日の開館以来、18年経過している当館ですが、毎年、その時期には企画展やバスツアーなど記念事業を行っています。今年も、“本物の気球に乗って、普段見ることのできない場所から、下部温泉郷を囲む自然の山々を眺める”という、簡単には体験できない感動の「熱気球体験」を、身延町の子供たちにも知ってほしい、“気球をきっかけに沢山のの人に金山博物館を知っていただき訪れてほしい”という思いから、湯之奥金山博物館と岐阜県高山市のおっぱら夢組合の皆さんのコラボ企画が実現しました。

当日は、不安定な天候のため開催も危ぶまれましたが、博物館脇リバーサイドパークテニスコートに見事な熱気球が空に浮かび上がりました。

搭乗開始時間午前7時に合わせ、町内外から早い方では早朝5時半から会場へおいでくださり、無事希望者全員が搭乗することができました。約20m～30m浮上する、約5分間程度のフライト体験に、皆さん感動し「とっても楽しかった」、「また飛ばしてください」、「みたことのない景色を見ることができました」という喜びのコメントを寄せてくれました。



有料入館者33万人目達成！

6月14日(日)



お客様の動きも例年に比べて少しずつ戻っていただいている雰囲気を感じられる中で、この日、有料入館

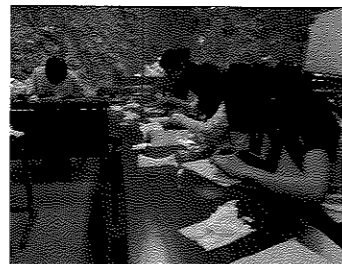
者33万人目のお客様をお迎えすることが出来ました。この偶然に巡り合ったのは県内南アルプス市在住の十楽卓矢さんご家族。4歳の歩生君に、もーん父さんから花束が贈呈され、お母さんのさやかさんには記念品が手渡されました。来館中のお客様から温かい拍手をいただく中、記念撮影。この記念写真は売店壁面に飾らせていただきます。また十楽さんには後日、お名前入りの金箔の特製記念入館証もお送りさせていただきました。

シルバークレイアート体験教室

6月20日(土)

この日、博物館初事業のシルバークレイアート体験教室を開催いたしました。講師は地元身延町にお住いの山内真咲先生。10名の参加者が山内先生の指導のもと、純銀製のペンダントトップや指輪の作成に挑戦しました。参加者の皆さんは「難しかったけど楽しかった。次はもっときれいに作りたい」と意気込みを語ってくれました。

ということで、この冬2回目クレイアート教室を開催予定ですので、日時決定の際には、新規の方も再度チャレンジの方もどんどんお申込みください。



テレビの取材・撮影で博物館がたくさん紹介されました

「俳句王国がゆく(NHK)」 「Let's天才てれびくん(NHK)」 「たけしのニッポンのミカタ!(テレビ東京)」 etc.

新年度に入り4月以降、嬉しいことに博物館への取材・撮影依頼を多くいただきました。

新年度テレビ関係の皮切りはNHKの「俳句王国がゆく」という、俳句をテーマにした番組。身延町にちなみ俳句テーマの一つに「甲州金」が選ばれておりました。そこで小松美鈴学芸員が金山の歴史や甲州金についての解説員として登場。その解説を聞いて各チームの出演者が即吟して競いました。2チームからは金山や甲州金をテーマにして次のような素敵な俳句が詠まれました。

「金を吸ふ 草かもしれず 走り梅雨」

新聞記者俳人 山口優夢 さん

「見たくなき 甲州金の 春の夢」

演劇に夢中俳人 真嶋 陽 さん

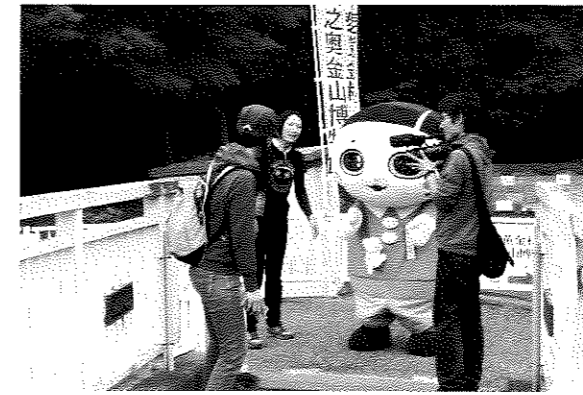
この放送は5月10日(日)の午後3時からの本放送と6月20日(土)の再放送がありました。

また、NHKの子供向け番組「Let's天才てれびくん」では、『テレビ戦士よ、黄金を探せ』というミッションを与えられた子ども達が、小松学芸員の現地案内のもと、湯之奥・茅小屋金山に赴き黄金を探り当てる内容。

ロケ当日は雨も降りしきる非常に寒い日で、出演者である隊員達や、「麒麟」の田村さんらは寒い中、茅小屋金山に頑張って登りました。博物館に戻り、鉱石を白で粉成したり汰り分けたりと、短時間ながら「こども金山探検隊」と同様の作業を行いました。最終的には砂金採り体験室でなんとか金をGET!そんな様子のオンエアは5月11日(月)の午後6時20分から。

収録ラッシュのラストはテレビ東京の「たけしのニッポンのミカタ!」。“金山を使った小さな町の仰天博物館”をテーマに、スタッフの皆さんが博物館に数日密着して撮影してくれた映像は、6月5日(金)にオンエア。もーん父さんも取材の対象となりました。

県内外の皆さんが見てくださったようで、「テレビで見てやってきました」というお客様の声、そして「テレビで見た人だ!」というお子様の声も非常に多く、館にとっても大変嬉しいことでした。こうして多くのメディアに取り上げていただき大変嬉しい限りですが、これらの番組をご覧になっておいでくださったお客様の期待を損なわぬよう、スタッフ一同ますます精進して参ります。

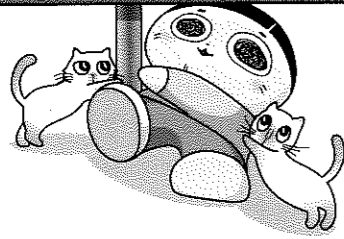


平成26年度 博物館世代別利用状況

年月	開館日数	区分	有料入館者				年月	開館日数	区分	有料入館者			
			観覧	体験	共通	合計				観覧	体験	共通	合計
25.4	26	大人	251	207	178	636	10	26	大人	293	165	226	684
		中学生	10	25	3	38			中学生	114	10	4	128
		小学生	34	92	24	150			小学生	32	99	62	193
		小計	295	324	205	824			小計	439	274	292	1,005
5	26	大人	383	509	331	1,223	11	26	大人	436	218	286	940
		中学生	4	105	190	299			中学生	199	123	3	325
		小学生	12	206	75	293			小学生	2	78	41	121
		小計	399	820	596	1,815			小計	637	419	330	1,386
6	26	大人	331	301	236	868	12	23	大人	119	113	74	306
		中学生	2	9	6	17			中学生	0	1	0	1
		小学生	3	70	27	100			小学生	1	33	6	40
		小計	336	380	269	985			小計	120	147	80	347
7	27	大人	327	314	217	858	26.1	26	大人	262	132	116	510
		中学生	0	40	41	81			中学生	1	5	1	7
		小学生	10	171	61	242			小学生	68	27	20	115
		小計	337	525	319	1,181			小計	331	164	137	632
8	31	大人	568	692	713	1,973	2	24	大人	292	159	146	597
		中学生	11	72	68	151			中学生	5	7	5	17
		小学生	17	389	233	639			小学生	3	35	26	64
		小計	596	1,153	1,014	2,763			小計	300	201	177	678
9	26	大人	366	323	221	910	3	28	大人	355	314	416	1,085
		中学生	5	14	8	27			中学生	3	28	10	41
		小学生	8	102	27	137			小学生	11	126	61	198
		小計	379	439	256	1,074			小計	369	468	487	1,324
合計	315	大人	3,983	3,447	3,160	10,590	合計	315	大人	3,983	3,447	3,160	10,590
		中学生	354	439	339	1,132			中学生	354	439	339	1,132
		小学生	201	1,428	663	2,292			小学生	201	1,428	663	2,292
		小計	4,538	5,314	4,162	14,014			小計	4,538	5,314	4,162	14,014

3月31日現在

博物館事業のお知らせ



夏休みイベント ① 第7回化学実験教室

より多くの地元の子供たちが、化学を学ぶ楽しさ、驚きや魅力を感じてもらえるよう始めた「化学実験教室」も7年目。講師を務めてくださるのは、東西中高砂金掘り大会で、東京・開成学園を率いる宮本一弘先生。宮本先生はNHK高校講座をはじめ、各方面で大活躍されている先生です。化学を気楽に楽しめるせっかくの機会。少しでも興味があったらまずはお申込み！

- 期日：平成27年7月19日（日） ■講師：宮本一弘 先生（東京・開成学園教諭・理化学部顧問）
 - 共催：夢・化学-21委員会 公益社団法人日本化学会 ■参加費：1実験 各200円
 - 場所：甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 多目的ホール
 - 対象：小・中学生 ※就学前のお子様でご参加希望される場合は保護者同伴でお願いいたします
 - 定員：各回とも15人まで（要 事前申込、重複参加可能）
 - 実験内容及び実験開始時間
 - 第1回実験「消える絵&カラーマジック」【時間】9:30～10:30
 - 第2回実験「シャボン玉を浮かべろ!? & 冷却バックを作ろう!」【時間】11:00～12:00
 - 第3回実験「偏光板の実験&光を分けよう」【時間】13:30～14:30
- ※お申し込み時には、参加希望実験、参加されるお子様のお名前・学年、ご住所、電話番号、同伴される保護者の方のお名前をお伝えください。なお、例年の実験にアレンジを加えて開催しております。内容が多少変更になることもありますので、ご承知置きください。

② 湯之奥金山博物館杯・第15回砂金掘り大会（一般大会）

7月25日（土）開催！参加者募集中！

午前10時（受付9時30分開始）～15時30分迄 ※雨天決行
場 所：博物館専用駐車場特設テント下

毎年恒例、博物館夏の祭典「砂金掘り大会」。ジュニア、男女初心者、男女ベテランと3部門に分かれています。全部門混合で定員200名。昨年より100名定員を増員しました！
現在、参加者募集中！大人も子供もどなた様も、お気軽にどんどんどご参加ください。

競技部門：★ジュニアの部（小学生～中学3年生まで）砂6kg
★男女初心者の部（高校生以上の男女）砂10kg
★ベテランの部（男女年齢制限なし）砂10kgの予選
予選突破の上位20名に砂16kgのベテラン本選に出場権利が発生します。

変更点：ベテラン部門は男女初心者部門と同条件で予選を競っていただきます。両部門合わせて上位20名がベテラン部門本選に出場権利があります。男女初心者部門で登録された方が上位20名内に入った場合は、ベテラン部門本選に出場チャンスが発生します。予選落ちしたベテラン部門の方は本選出場できません。したがって初心者部門の方はベテラン部門でのダブル入賞のチャンスも有！

※過去入賞経験のある方は自動的にベテラン部門にエントリーされます。
■定 員：200名まで
■参加締切：7月24日の午前中まで。
ただし期日前でも定員になり次第締め切ります。
■参 加 費：大人 500円、小・中学生 300円（受付時に頂戴いたします）

各部門上位3位までに入賞された方には、メダルと賞状が贈られます。また各部門の1位同士で「頂上決戦（同条件一本勝負）」を行い、1位となった方が2015年砂金掘り大会総合優勝者です。
総合優勝者には記念トロフィー（返還式）&豪華副賞（砂金掘り大会WINNERの証・オリジナル純銀製金メッキ仕上げ記念メダル）を差し上げます。

9:30～	湯之奥金山博物館集合・受付開始
10:00～	開会式・ルール説明
10:20～	競技開始【ベテラン部門】
11:00～	【ジュニア部門】
12:00～	【男女初心者部門】
13:00～	【頂上決戦】
13:30～	【マイバンニング血部門】
15:00～	結果発表・表彰式
15:30頃	一般大会終了。解散。

砂金掘り大会優賞者に
与えられるもの…
それは栄誉と豪華賞品！

総合優勝者：返還式トロフィー&特製メダル
お持ち帰り用トロフィー&賞状
各部門上位1～3位：メダル&賞状
ブービー賞：その年の不思議なもの
キリ番賞：ささやかなもの
※何が出ても笑ってお受け取りください。

③ 砂金甲子園！第12回東西中高交流砂金掘り大会（学校大会）

7月26日（日）出場校最多！10校が激突！

午前10時～14時迄 ※雨天決行

場 所：博物館専用駐車場特設テント下

【参加校】 灘（兵庫）、開成学園（東京）、大妻中学高等学校（東京）、
慶應義塾中（東京）、麻布中学校・高等学校（東京）、
桐朋学園（東京）、新座市立第四中学校（埼玉）、
山梨学院大学附属（山梨）、駿台甲府中学校・高等学校（山梨）、
峡南高校（身延町）

砂金掘り大会一般大会の翌日は、東西の中高が砂金掘りのテクニックで競う、他では聞かない稀有な祭典。第12回東西中高交流砂金掘り大会を開催します。名付けて「砂金甲子園」！

波乱の同点優勝という結果になった昨年の結果。灘と桐朋に立ち向かうのは、東の常連・開成か、スポーツの雄・山梨学院大附属か、3年目の慶應義塾中等部か。なでしこチーム大妻中学高等学校も気になる存在！そして5年ぶりの出場復活を果たした駿台甲府。いならば強敵に初登場の麻布中高はどう立ち向かうか！公立校の意地を見せたいと名門校に挑戦状をたたきつけるべく初参加の新座市立第四中学。そんな中、過去、優勝を果たしている地元・峡南高校はどう戦うか！

出場校が過去最多の10校になって、競技方法もさらにリニューアル！気になる勝負の行方は果たして…？皆様の熱い応援をよろしくお願いします！

10:00～	出場選手入場
10:10～	開会式&トロフィー返還、競技説明
10:20～11:00	団体戦（40分間）
11:10～12:00	個人戦 （8分×3試合 40分間）
12:10～	結果発表・表彰式 （優勝・準優勝・第3位、新人賞、最優秀選手賞）
12:30～	昼食兼・交流懇親会、記念撮影、アンケート記入 学校大会 終了

④ 第15回こども金山探険隊

■期日：平成27年8月1日（土）～2日（日）

1日目：中山金山現地登山&鉱石粉成・汰りわけ体験
2日目：灰吹き・甲州金作り



とうとう15年目を迎えた、おなじみ! 「こども金山探険隊」。もうすぐ定員に達しますので、参加申し込みはお早めに。中山金山登山はハード? 今から日々の体力づくり、頑張っておいてね!!

★★夏休みイベント当日ボランティア募集中★★

夏休み4大イベントへの参加・ボランティアなど、すべてのお申し込み・お問い合わせは
湯之奥金山博物館 TEL. 0556-36-0015 FAX. 0556-36-0003 まで

ROAD TO 夢への道 THE DREAM.



甲斐黄金村・湯之奥金山博物館
The Yu-no-Oku Museum of Gold Mining History

8月中の夏休み無休開館のお知らせ

ただいまの季節、博物館は夏時間で開館しております。また、8月中は夏休み期間につき、博物館も無休開館しております。どうぞ夏休みの思い出にも金山博物館ご利用ください。

5月～9月迄：午前9時～午後6時迄（受付は午後5時30分迄・毎週水曜日休館）

お知らせ | 『博物館だより71号』に掲載の「年間イベントカレンダー」内、「親子映画観賞会」は今回取りやめとなりましたので、どうぞご了承ください。

編集後記

夏イベントが近づいてきました。化学実験教室、子ども金山探険隊、砂金掘り大会などなど、各イベントとも順調にお申込みいただいております。中でも、砂金採りをスポーツ競技として確立させた稀有な大会。そして博物館最大イベントでもある「砂金掘り大会」は、絶賛参加者募集中です。日本最大級といえる湯之奥金山博物館杯・砂金掘り大会に「我こそは!」と思う方、どうぞふるってご参加ください。皆様楽しんでいただけるよう、いろんな仕掛けを考えてお待ちしておりますよ。

博物館だより

第72号 平成27年7月10日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先

TEL 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003

博物館HPアドレス http://www.town.minobu.lg.jp/local_minobu/kinzan/index.html

博物館Eメール yunoking@town.minobu.lg.jp